

令和8年度（令和8年10月入学含む）
大学院博士前期課程入学者選抜学力試験問題
（食品流通安全管理専攻 共通科目 食品流通安全管理学）

令和8年2月3日

※解答はすべて別添の解答用紙に記入すること。
※解答は日本語で行うこと。

問題 以下の文章を読み各設問に答えなさい。

我が国では、まだ食べることができる食品が、生産、製造、販売、消費等の各段階において日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生している。これまで、食品ロス削減の目標達成に向けて、食品の生産・製造段階や流通段階の事業者による商慣習の見直しや、消費者の賞味期限の理解増進による行動変容の促進等を図ってきたが、更なる取組が必要となっている。併せて、まだ食べることができる食品は、廃棄することなく、貧困等により十分な食料を入手できない者に提供することを含め、できるだけ食品として活用するようにしていくことが重要である。

出所：消費者庁『「食の環」プロジェクトの取りまとめとその発信について
（令和6年6月24日 関係府省庁申合せ）』より抜粋、一部改変

- 問1. 消費者が食品ロスが発生させる行動を記述しなさい。 (10点)
- 問2. 食品ロスが発生する要因を、生産、製造、販売、消費の各段階に分けて記述しなさい。 (20点)
- 問3. 食品ロスが発生することで、引き起こされる問題を、環境面、経済面からそれぞれ記述しなさい。 (20点)
- 問4. 食品ロス対策として食べ残し持ち帰り促進やフードバンク・こども食堂等への食料提供が検討されているが、食品安全の視点での留意事項について記述しなさい。 (20点)
- 問5. 食品ロス対策として、あなた自身の体験から、自身が取り組めること、あるいは提案できることについて自身の考えを記述しなさい。 (30点)

令和8年度（令和8年10月入学含む）
大学院博士前期課程入学者選抜学力試験 解答用紙

令和8年2月3日

専攻名	食品流通安全管理 専攻	受験 番号	氏名
共通科目名	食品流通安全管理学		

※解答はこの解答用紙に記入すること。書ききれない場合は、裏面に記入すること。
※解答は日本語で行うこと。

問1

問2

問3

*採点	
-----	--

問 4

問 5